

大食ひを
妙見神社に
きそはむと
山伏らつてふ
その面構へ



「発光路の強飯式」

「発光路の強飯式」歌碑に

—発光路令和大嘗祭歌碑竣功祭—
(発光路歌碑建設委員会)

9月5日、妙見神社(上粕尾)境内に建立された歌碑の竣功祭が行われました。

歌碑は、令和の大嘗祭で披露された本県の習俗や自然を題材に詠まれた風俗歌9首の内、「発光路の強飯式」の歌を記念したもの。式典には、詠進者である歌人・篠弘氏も出席し、「地域の歴史に親しむきっかけになれば」と歌に込めた思いを語りました。

戦時下の村の姿を伝える

—戦時下における菊沢村関係資料の寄贈—

9月21日に市は、菊沢村の村長であった曾祖父・大出新作氏や同村に関係する資料、1,143点を市に寄贈した大出隆氏(見野)に感謝状を贈呈しました。

満州への集団移民の計画書など戦時下における数々の資料は、終戦時の混乱を乗り越えて保存された貴重なもの。大出氏は「今後の市政にこれらの資料が役立つならうれしい」と話しました。



シウマイのまち・鹿沼の スタート地点に

—鹿沼商工会議所創立75周年記念事業
シウマイ像除幕式—
(鹿沼商工会議所・東京藝術大学・(株)崎陽軒)

9月22日、JR鹿沼駅前で、深岩石を使用して制作された彫刻「シウマイ像」の除幕式が開催されました。

シウマイ像は、加園出身の崎陽軒初代社長・野並茂吉の功績を讃え、本市における地産地消の食によるまちおこしを目的として設置。崎陽軒・野並晃専務は「横浜と鹿沼のリソースが合体して新しい鹿沼の名物をつくり出していければ良い」と思いを語りました。



シウマイ像と、制作者としての思いを語る
東京藝術大学・石井琢郎氏(除幕式で)。



利用者を安全・安心に目的地まで — 運転ボランティア・安全運転研修会 —

きくさわスマイル号実行委員会では、9月21日・22日に、鹿沼自動車教習所で、運転ボランティアを対象とした安全運転研修会を実施しました。

きくさわスマイル号は、菊沢地区在住の高齢者等を対象に、買い物や通院などの支援を行っています。今回の研修は地元事業所である同教習所の協力を得て実施したもので、15人のボランティアが参加。座学や実技講習を通して、安全運転の心構えを改めて確認しました。

シーズン開幕!

— 「宇都宮ブレックス」表敬訪問 &銅板製バスケットボール贈呈—

9月27日、本市とマザータウン協定を結ぶ、男子プロバスケットボールチーム「宇都宮ブレックス」代表取締役社長・藤本光正氏らが市長を表敬訪問し、Bリーグ開幕を前に挨拶を行いました。

また、職業訓練法人 鹿沼共同高等産業技術学校運営会会長の津吹孝行氏が作成した銅板製バスケットボールを鹿沼市より、宇都宮ブレックスに贈呈しました。

「2021-2022 Bリーグ」での同チームの活躍をみんなで応援しましょう!



左:「宇都宮ブレックス」代表取締役社長 藤本光正氏
中央:職業訓練法人 鹿沼共同高等産業技術学校運営会会長 津吹孝行氏

東京オリンピックでの健闘に拍手

— 石原奈央選手 東京オリンピック出場慰労会 —

9月27日、東京2020オリンピックのクレイ射撃女子スキート競技に出場した石原奈央選手の慰労会が市役所で行われました。地元西大芦自治会協議会の皆さんが同席する中行われた石原選手による大会の結果報告では、スライドショーを用いながら、選手村での様子などをお話し頂きました。また、佐藤市長から、鹿沼市特別賞を贈呈し、石原選手の健闘に敬意を表するとともに、今後のさらなる活躍にエールを送りました。

